

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14 備忘ログ(PATCH2.0) ジョブクラス編

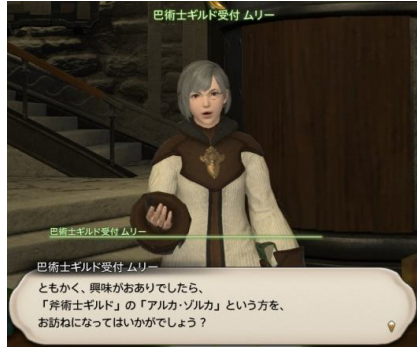


学者クエスト

学問ノススメ

巴術士ギルド受付

ムリー：ふむ……貴方なら適任かもしれませんね。実は最近「実力ある巴術士を紹介しろ」と、妙な男性から迫られておりまして……。
斧術士ギルドに所属している方らしいのですがね。なんでも、ある「学術調査」に協力してくれる巴術士を探しているのだそうです。
巴術を探究する者にとっても有益な調査だと仰っていましたが、はたして本当かどうか……。
なにせ斧術士には、粗野な輩も多いですからね。
ともかく、興味がございましたら、「斧術士ギルド」の「アルカ・ソルカ」という方を、お訪ねになってはいかがでしょうか？



アルカ・ソルカ：もしかして「巴術士ギルド」から派遣されてきた人？ いやはや、実にいいタイミングで来てくれたね！
さっそく、話を聞いておくれよ。
僕は、斧術士のアルカ・ソルカ。おっと、そこらの筋肉ダルマとは比べないでくれよ。
新時代を生きる頭脳派斧術士とは、僕のことなんだから！
僕はね、斧術をさらなる高みへ導くために、伝説の「ニーム海兵団」について調べているんだ。
今よりさかのぼること1500年以上前…… 第六皇暦時代のバイルブランド島には、「ニーム」という名の海洋都市が存在していた。
当時は、魔法文明の隆盛期でね。魔法を濫用した戦乱……「魔大戦」が、エオルゼア全土で巻き起こっていたそうだよ。
少数の魔道士しか保有できなかったニームが、そんな中、独立を維持できていたのは、
海兵団の存在があったからだ、とされているんだ。
斧を持った多数の海兵と、少数の魔道士で構成された、伝説の最強軍団「ニーム海兵団」……。
その強さの秘密を知ることができたら、斧術士である僕だけでなく、魔法使いであるキミにも益があると思わないかい？
……でも、ちょっとした問題があってね。大枚はたいて冒険者から購入した、ニーム時代の遺物が、
輸送中に盗賊に奪われてしまったそうなんだ。
犯人は、東ラノシアの「レインキッシャー樹林」にある船着場近くで、通行人を襲っているらしい。
まずは、盗賊退治に付き合ってくれ！



アルカ・ソルカ：協力に感謝するよ。……ここで盗賊たちを、待ち伏せるんだ。奴らが現れたら、一気に仕掛けるぞ！

理詰のアルカ・ソルカ：奴らが強奪犯だ！ 逃がすものか！

理詰のアルカ・ソルカ：どうやら片付いたようだね。やつらに盗まれた荷物を、探してみよう。

アルカ・ソルカ：これだ！ 伝説の海兵団に関する石版だ！
な、なんだ、このヘンチクリンな奴は！？
ハッ……！ もしかして、石版に何か記述があるかも……。
あつた！ 海兵団を導いた魔道士……軍学を修めし「学者」！ そして、その使い魔「フェアリー」！
陽光と癒しの力を司る「フェアリー・エオス」！
月光と励ましの力を司る「フェアリー・セレネ」！



アルカ・ソルカ
陽光と癒しの力を司る「フェアリー・エオス」！



アルカ・ソルカ
月光と励ましの力を司る「フェアリー・セレネ」！

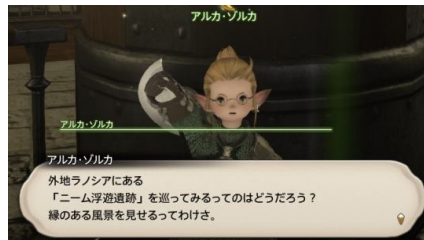
???? : ◇◇◇◇……。

アルカ・ソルカ : すごいぞ！ キミは古の「学者」の力を…… 使い魔「フェアリー」を目覚めさせたんだ！！
まったくもって、予想外の展開だよ！ 古の軍学魔法を甦らせてしまうだなんてね！
ともかく、落ち着いて石版を調べるためにも、一度、リムサ・ロミンサに戻ろうじゃないか。
それじゃまた、「斧術士ギルド」で会おう！

アルカ・ソルカ : やあ、お戻りだね！ ちょうど今、回収した石版を読んでいたところだよ。
……石版の記述によれば、ニームの「学者」たちは、キミが拾った輝く結晶「ソウルクリスタル」に、
軍学魔法の知識を蓄積していたようだね。
つまり、ソウルクリスタルは「学者の証」であり、フェアリー召喚の鍵になるってことさ。
その結晶は、どうやらキミが持つておくべき物のようだ。盗賊退治に協力してくれたお礼、ってわけじゃないけど、
キミに譲るとするよ。
僕はこれから、石版をさらに読み進めてみる。調査の進展には少しかかりそうだから、
キミはその間に、フェアリーの扱いを練習していてくれ。

失われた記憶を求めて

アルカ・ゾルカ： やあやあ、◇◇◇君じゃないか！「ニーム海兵団」の研究は、着実に進んでいるよ。
……石版の劣化が激しくて、解読は大変だけどね。
もちろん、キミのことも忘れちゃいないさ。「学者」の軍学魔法についても、ちゃーんと調べてるよ。
……ニームの軍勢は、斧を持つ海兵を主力としていた。そして、貴重だった魔道士の力は、兵士たちの力を最大限に引き出すために、使われていたらしいんだ。
最前線で兵の指揮を執りつつ、彼らとともに戦い、魔法でその力を引き出して、負傷者があればそれを癒す。戦う軍師……それが軍学を極めた「学者」という存在さ。
だけど、気になる点もいくつかあってね……。石版によれば、軍学魔法はもっと多彩なものだったらしい。すべての軍学魔法を使えないのは、1500年もの長きにわたって封じられていたフェアリーが、完全に目覚めていないせいだと思うんだ。
……フェアリーに、記憶を刺激するような体験をさせれば、目覚めを促すことができるんじゃないかな。
外地ラノシアにある「**ニーム浮遊遺跡**」を巡ってみるってのはどうだろう？
緑のある風景を見せるってわけさ。
ただし、あの辺りはコボルド族の勢力圏にも近い。彼らと遭遇すると厄介だから、くれぐれも注意してくれよ。



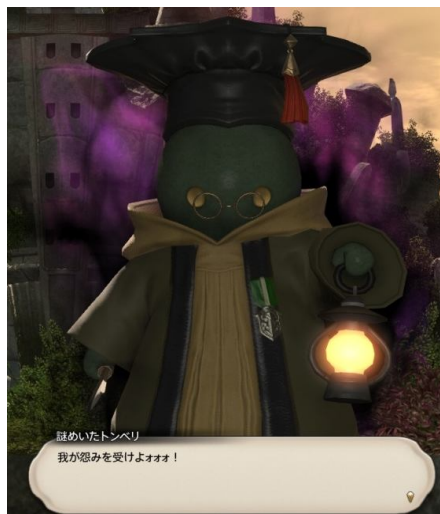
アルカ・ゾルカ： おかえり、◇◇◇君。その様子だと、僕の提案はうまくいったようだね。
フェアリーの目覚めによって、「ソウルクリスタル」に秘められていた古の軍学魔法が、呼び覚まされるはずだよ。
さあ、僕も負けていけないね。石版に記されていた「海兵の戦技」を体得するため、猛特訓をしてみるつもりさ。
失われた技術を、どっちが次に復活させられるか、競争しようじゃないか！
さあ、お互い修行に励もうぜ！

怨念の権化

アルカ・ソルカ : やあやあ、◇◇◇君！ いつもながら、キミはいいところに現れてくれるね。
実は僕、石版にあった「海兵の戦技」を体得できたんだ！
伝説の「ニーム海兵団」では、海兵と学者が協力していたって話は、もうしたよね？
海兵の戦技を復活させたい僕としては、ぜひとも、現代に甦った学者であるキミと共闘して、体得した技を試してみたいんだよ。
ちょうどいい話があるね。ニーム時代の遺跡が数多く残るブロンズレイクに、「トンベリ」が現われたらしい。
「トンベリ」というのは、ニーム時代の神祇遺跡…… 「ワンダラーパレス」に棲みついている不快な怪物さ。
普段は遺跡から出てこないんだが、最近1匹のトンベリが、ブロンズレイクを徘徊してるらしい。
その討伐依頼が、斧術士ギルドに回ってきてるのさ。
ニームに由来する場所で怪物退治……。フェアリーの記憶を刺激するのにも、うってつけだろう？
トンベリが目撃されたのは、高地ラノシアの「**ブロンズレイク**」中央部だ。現地に祭壇があるから、その前で待ち合わせよう！

アルカ・ソルカ : ◇◇◇君、待たせてしまったみたいだね。
「トンベリ」が目撃されたのは、このあたりだ。まだ周囲に潜んでいるかもしれないから、慎重に行こう。
いたぞ！ あいつが噂の怪物だ！

謎めいたトンベリ : オオオオオオオ……！ 我が輝き……失われた輝き…… ついに見つけたぞオオオ……！
我が怨みを受けよオオオ！



アルカ・ソルカ : く、来るぞッ！

先駆のアルカ・ソルカ : 僕が前に出るから、支援を頼むッ！
先駆のアルカ・ソルカ : なんだコイツら？ あいつが呼び出したとでもいうのか！？
先駆のアルカ・ソルカ : う、うわああああっ！

アルカ・ソルカ : これでトドメだア！
危ないじゃないかッ！ 邪魔だ、そこをどけッ！



謎めいたトンベリ : オオオオオオ……。

アルカ・ソルカ : なんだったんだよ！
キミのフェアリーは、戻けがなくてないよ！ おかげで、トンベリを逃がしてしまったじゃないか！
……まあ、軍学魔法とフェアリーについては、まだまだ未知数の部分が多いから、仕方がないけどさ。
とにかく、今回の討伐は失敗だよ。トンベリは完全に見失ってしまったし……
今日のところは「斧術士ギルド」に引きあげるとしようか。

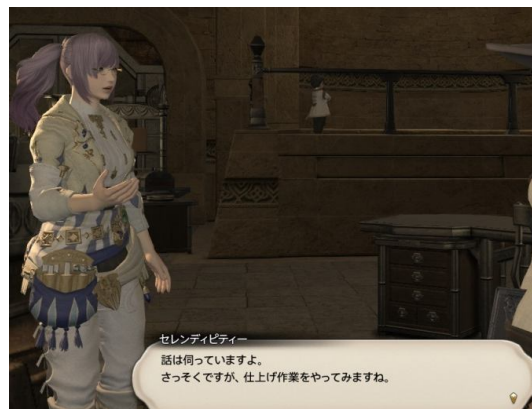
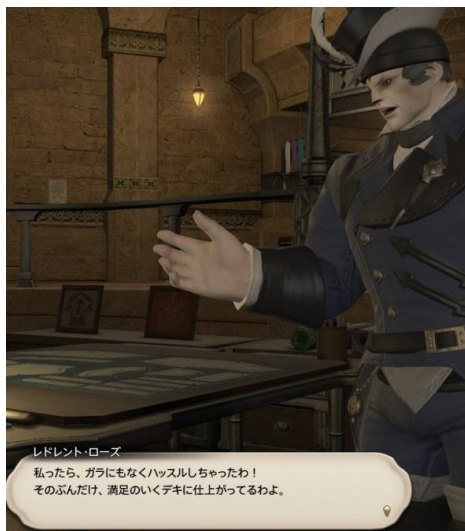
アルカ・ソルカ : やあ、◇◇君。さっきは怒鳴ったりして悪かったね。僕も少し、興奮しすぎていたようだ……。
トンベリ討伐は失敗してしまったけど、僕の「海兵の戦技」と、キミの軍学魔法の連携が、
実戦でも有効だってことを証明することはできた。
見たところ、キミのフェアリーも、記憶を刺激されているようだし、収穫はあったわけだ。
僕は、さらなる調査を続けるとするよ。また進展があったときは、協力してくれよな。
……それと、フェアリーの戻けを忘れないでくれよ。



匠たちへの頼み

アルカ・ゾルカ： やあやあ、◇◇◇君！ 相棒のフェアリーともども、腕を上げたようだね！ こっちの調査にも進展があったよ。第六星暦当時の「学者」が活躍する様子を描いたレリーフと、その装束にまつわる記述を発見したんだ。もし、学者の装束を再現できたとしたら…… フェアリーの記憶も、おおいに刺激されるんじゃないかな？ とはいえ、1500年以上前の装束を、少ない資料を頼りに作るのは、並の職人じゃムリだろう。だから、専門家に協力を要請してみたんだ。まずは、僕がまとめた「学者装束概論」を渡しておくよ。これをウルダハにある裁縫師ギルドのマスター、「レドレント・ローズ」さんに渡して、製作を依頼してくれ。ただし、その前にやるべきことがある。材料となる「霊妖花の若葉」を手に入れる必要があるのさ。「霊妖花の若葉」は、今やモードゥナの「**迷霧湿原**」でしか見られない稀少な妖花の若葉だ。密集した樹木の間を、よく探してくれ。若葉を手に入れたら「学者装束概論」ともども、裁縫師ギルドの「レドレント・ローズ」さんに渡すんだ。「学者の装束」の再現、楽しみに待っているよ！

レドレント・ローズ： あなたが、アルカ・ゾルカちゃんが言っていた「学者」さん？ ヒトは見かけによらないのねえ……。この「学者装束概論」に描かれてる写し絵を参考に、装束を再現すればいいのね？なるほど……仕立てるのは難しそうだけど、こんな感じの復古主義的オシャレもいいわね。古代のロマンをピンピン感じるわ！この「霊妖花の若葉」を染料に、シックな濃紺に染めるっていうのも素敵よね！ さっそく作業に取りかからせてもらおうわ！はあ、はあ、はあ…… で、できたわよ！私ったら、ガラにもなくハッスルしちゃったわ！ そのぶんだけ、満足のいくデキに仕上がってるわよ。ただ、注意してほしいことがあるの。完成したのは脚衣だけ……あとは未完成よ。仕上げは、それぞれの専門家に任せたいの。制帽は、彫金師ギルドの「セレンディピティ」ちゃん。手袋は、革細工師ギルドの「ゲヴァ」ちゃん。ブーツは、同じく革細工師ギルドの「ベリ」ちゃんよ。それぞれの専門家に、私が用意した「未完の学者装束」を渡せば仕上げてくれるわ。全部完成したら、「アルカ・ゾルカ」ちゃんに着て見せてあげなさいよ。あの子も装束の完成を楽しみにしてるはずだからね。



セレンディピティ： はい、どうもこんにちは！ あなたがレドレント・ローズさんの言っていた「学者」さんですね？話は伺っていますよ。さっそくですが、仕上げ作業をやってみますね。できました！ レドレント・ローズさんが仕立てた帽子に、ミスリル細工の留め金と飾りをちりばめてみました。深い濃紺に、ミスリルの白い輝き！ うん、とっても素敵だと思いますっ！

ゲヴァ : ふうん、レドレント・ローズが言っていた自称「学者」って、あんたなのね。
ま、いいわ。細かい話は抜きにして、仕上げ作業に入るから。
こんなものかしら？ リムサ・ロミンサから取り寄せておいたバッファロー革を縫いあわせたグローブよ。
魔道書をめくりやすいように、指先が出る形に仕上げておいたわ……大切になさい。

ベリ : 例の「学者の装束」に関する依頼だね？ 靴職人である、この私の腕が必要というのなら、喜んで手を貸させてもらおう。
こんな機会は、なかなかないからね。気合いを入れて、仕事をするとうしようか！
ほら、お望みの品の完成だ。写し絵のデザインを参考に、キミが届けてくれた部品に、
バッファロー革とボア革を縫いあわせて仕上げてみた。
多くの命をいただいて作った品なんだ。くれぐれも、愛情をもって使ってくれよ。

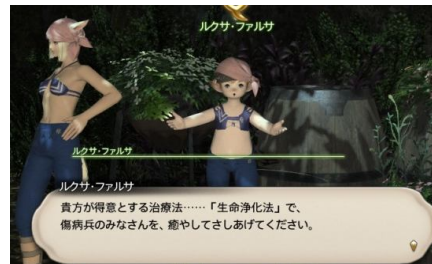


アルカ・ソルカ : こ、これが…… 「ニーム海兵団」の学者が着ていた、古の制式装束ッ！
素晴らしい出来だよ！ 石版に刻まれたレリーフから、こんなにすばらしい装束が再現されるなんて！
自分で提案しておいてなんだけど、本当に驚きだ！
あはは、キミの相棒も、どうやらお気に召したようだぞ！ 今回の装束再現は大成功だなッ！

軍学式の治療法

アルカ・ゾルカ： そうそう、◇◇◇君！ キミが学者装束のために奔走している間も、調査を進めていたところ、新たに解ったことがあるんだ。……「ニーム」が繁栄していた第六星暦末期。「魔大戦」という大きな戦乱があったものの、その合間には、多少なりとも平穏な時期があったらしい。そういう平時の間、学者たちはその魔法を使って、癒やし手として活躍していたそうなんだ。特に、ニームで奇病が大流行した時には、献身的に人々の治療にあたったそうだよ。当然、キミのフェアリーも治療に参加していたはずさ。もしかすると、病人の治療に手を貸すことで、フェアリーの記憶を刺激できるかもしれない……。高地ラノシアのキャンプ・ブロンズレイクには、「**ウォームワイン・サナトリウム**」っていう療養所がある。所長の「ルクサ・ファルサ」に会って、病人の治療を手伝って見たらどうか？ フェアリーの目覚めを促せるかもしれないよ。

ルクサ・ファルサ： ようこそ、ウォームワイン・サナトリウムへ。長期療養のご希望でしたら……っと、病人の治療を手伝いたいですって？ ああ、アルカ・ゾルカさんから話は伺ってますよ。今のご時世、無償で治療をしてくださる方がいるとは……私、感激でございます。この温泉地には現在、治療を必要としている傷病兵が5名ほどいらっしやいます。貴方が得意とする治療法……「生命浄化法」で、傷病兵のみなさんを、癒やしてさしあげてください。



辛そうな傷病兵： なんだか、体調がすぐれなくて……。あなたが治療してくださるの？ まあ、なんだか身体が軽くなったようだわ。本当にありがとう！

酔った傷病兵： ういっく……。治療のために飲むスパイスワインは、最高だあ〜！ ういっく……。どうしてくれるんだあ〜！ 体調が良くなっちゃったら……。ういっく！ スパイスワインが、飲めなくなるじゃねえかあ〜！

顔色の悪い傷病兵： 傷はもう治ったはずなのに、誰かが伸しかかっているように肩が重いんだ……。な、なんだ！？ 悪霊に取り憑かれていたってことか？

陰気な傷病兵： カルテノーの戦いから5年……。いっこうに傷が完治する様子もねえ……。あ、あんなに疼いていた傷が嘘のように……。アンタ、いったい何者だ！？

眠そうな傷病兵： ……悪夢にうなされて、夜も眠れないの。何かに取り憑かれているのかしら……。ほ、本当に取り憑かれていたなんて！





ルクサ・ファルサ： いやあ、実に素晴らしい働きぶり！ 私、感服いたしました！
傷や病が癒えれば、みなさん、前線に復帰できるでしょう。貴方を紹介して下さった斧術士ギルドの「アルカ・ソルカ」さんにも、よろしくお伝えください！

アルカ・ソルカ： やあやあ、◇◇君！ その様子だと、キャンプ・ブロンズレイクでの治療活動は順調だったみたいじゃないか！
うんうん。どうやら、キミの相棒であるフェアリーも、癒やし手としての日々を思い出したようだね。
僕だって負けてはいないよ。キミが治療に行っている間に、さらに海兵の戦技を体得するため、猛特訓していたんだ。
もう少し時間が必要そうだけど、必ずモノにしてみせるさ！ キミも、欠かさず修行しておけよな！

次代の学者

アルカ・ゾルカ : やあやあ、◇◇◇君！ とんでもなく、いいところに来てくれたね！ 出たんだ、出たんだよ！
何が出たって、前に仕留めそこなった「トンベリ」さ！ ブロンズレイクで、荷運び人が襲われたらしい！
ちょうど、斧術士ギルドの仲間にも応援を頼んで、トンベリ退治に出発するところだったんだ。
前回は、あと一歩のところでフェアリーに邪魔されてしまったけど……
もう、そんな事はないよな？ キミも、フェアリーの扱いには慣れてきたわけだし。
ともかく、一緒にトンベリ退治に行くぞ！ 場所は「高地ラノシア」の「ブロンズレイク」中央部！ 例の祭壇前で合流だ！

アルカ・ゾルカ : 遅いぞ、◇◇◇君！ もう少しで、僕たちだけで仕掛けるところだったよ！
この上の祭壇に、また奴が現われているんだ！
みんな、準備はいいな！？
化物め、覚悟しろい！ アルカ・ゾルカ様と新生「海兵団」が、今度こそ、お前をとっつけてやるッ！



謎めいたトンベリ : オオオオオ…… 我が輝きを……奪った者たちよ……。怨みの地で、決着をつけようぞ……。

アルカ・ゾルカ : しまった！ 奴め、ワンダラーパレスに逃げこむつもりだ！
奴を追うぞ！ こうなったら、殴りこみだッ！

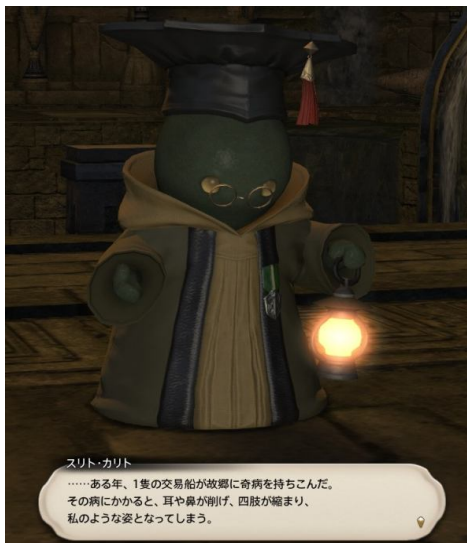
海兵のアルカ・ゾルカ : 来てくれ、◇◇◇君！ 奥に逃げられる前に、決着をつけるぞッ！

アルカ・ゾルカ : また邪魔する気か！？

海兵のアルカ・ゾルカ : ◇◇◇君、まさか、こいつを助けるつもりかい！？

謎めいたトンベリ : オオオオオオ…… 狂おしいほどの怨みが、晴れてゆく……。
お、お前はリリィベル！ なぜ、私のフェアリーをお主が……？
なるほど。私がワンダラーパレスに封じられてから、どうやら、途方もない歳月が過ぎたらしいな。

スリト・カリト : 私の名は、スリト・カリト。かつて海洋都市「ニーム」が誇った最強軍団、
「海兵団」を率いる軍学者のひとりだった……。
……ある年、1隻の交易船が故郷に奇病を持ちこんだ。その病にかかると、耳や鼻が削げ、四肢が縮まり、私のような姿になってしまう。
次々に人々が奇病にかかる中、私は癒やし手として、治療に奔走した。
だが……やがて、私も奇病に感染してしまった。そして醜い姿となった私を、かつての戦友たちは魔物だ、悪鬼だと罵ったのだ！



アルカ・ゾルカ : そ、そんな…… じゃあ、アンタはもともと人だったっていうのか？

スリト・カリト : さよう……。私と同様に、多くの者が魔物の如き醜い姿となった。
そして……。迫害され、すべてを奪われた我々は、怨みに吞まれ、心までも魔物の如くになってしまったのだ。
この確執は、ついには患者の隔離施設であったワンダラーパレスごと湖に沈め、封印魔法で封じるという
悪夢のような結末に至った……。
だが、お主とフェアリー「リリィベル」の力が、私の怨みに固まった心を癒やしてくれた……。
ありがとう……。こんな晴れやかな気持ちは久しぶりだ……。



熟練の斧術士 : アンタの「軍学魔法」とやら、やるじゃねえか。アルカ・ソルカとのコンビネーション、見事だったぜ。
それに引き替え、俺は……。ああ、まったく情けねえ！

気鋭の斧術士 : アルカ・ソルカのこと、頭でっかち野郎だって思ってたけど……。案外やるもんだね。
アタイも「海兵の戦技」とやらを、習ってみようかな。
今回はアタイたち、あんまり役に立てなかったからね。正直言って、あんたとアルカ・ソルカ……。
ふたりの目覚ましい活躍に、嫉妬さえ覚えたくらいだよ。



アルカ・ソルカ : うう……。スリト・カリトさんが、ニームの学者だったなんて……。つらかったろうな……。
……。でも、怨みを忘れられたし、キミのフェアリーも、記憶を取り戻したわけだ。万事めでたし、だよな？
それにしても、キミはすごいな……。学者であるキミに背中を預けて戦うことで、僕も強くなれるって実感できたよ。
よおし、さらなる技の体得に向けて、ギルドに帰って、調査と特訓を続けるぞ！ キミはスリト・カリトさんに、挨拶していけよな！

スリト・カリト : ありがとう。お主とリリィベルの力は、私の心を癒やしてくれた。霞のかかっていた思考も、今では晴れやかだ。
時を超え、軍学魔法を修め、リリィベルを目覚めさせてくれたお主に頼みがある。
奇病によって姿が変わってしまった私は、体内エーテルが変容し、もはやリリィベルを召喚できない。
リリィベルを……。正式にお主に託させてくれ。
そして学者を志すお主に、これを贈りたい……。『ニーム海兵団』に伝わる軍学の制服と、至高の軍学魔法「生命活性法」を！
さて……。私はもう行くことにするよ。いまだ怨みに吞まれたままの仲間を救うために……。
なに、私とて学者だ。必ず彼らを癒やしてみせるさ。
それではな。1500年後に現われた私たちの後継者よ……。さらばだ！

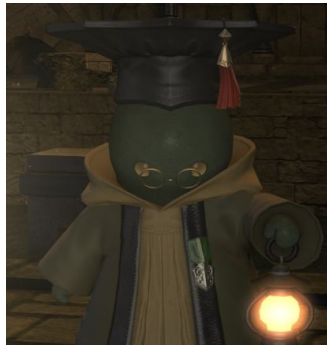


登場人物

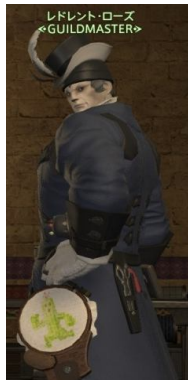
アルカ・ソルカ：斧術士



スリト・カリト：1500年前の「ニーム」の学者



レドレント・ローズ：裁縫師ギルドマスター



セレンディビティー：彫金師ギルドマスター



ゲヴァ：革細工師ギルドマスター



ベリ：靴職人



ルクサ・ファルサ：療養所長



ムリー：巴術士ギルド受付



熟練の斧術士



気鋭の斧術士



傷病兵の方々

